

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第66期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
【会社名】	株式会社ケーブイケー(商号 株式会社 K V K)
【英訳名】	KVK CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 末松 正幸
【本店の所在の場所】	岐阜県岐阜市黒野308番地
【電話番号】	058(239)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 佐野 孝之
【最寄りの連絡場所】	岐阜県岐阜市黒野308番地
【電話番号】	058(239)3111(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 佐野 孝之
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第1四半期連結 累計期間	第66期 第1四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高（千円）	5,871,094	5,930,949	23,800,500
経常利益（千円）	537,610	520,386	2,032,622
四半期（当期）純利益（千円）	298,229	352,496	1,053,282
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	268,118	289,884	1,087,939
純資産額（千円）	10,695,478	11,601,012	11,425,918
総資産額（千円）	19,295,849	19,292,553	19,775,548
1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円）	18.17	21.49	64.22
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	17.85	21.01	62.84
自己資本比率（％）	55.2	59.8	57.5
営業活動によるキャッシュ・フロー （千円）	522	82,050	1,763,590
投資活動によるキャッシュ・フロー （千円）	77,105	197,784	451,548
財務活動によるキャッシュ・フロー （千円）	77,070	64,264	1,132,392
現金及び現金同等物の四半期末（期 末）残高（千円）	1,445,517	1,404,100	1,631,852

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2．売上高には、消費税等は含んでおりません。

3．四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社1社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、欧州の債務危機に起因した海外経済の停滞や国内の電力供給不足への懸念などから景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、住宅取得支援策を背景に新設住宅着工戸数は僅かながら持ち直しの傾向にありました。

このような状況のもとで、当社グループは、水栓金具のトップメーカーをめざし、中期経営計画「Innovation & Growth」の2年目として、引き続き新たな成長基盤づくりに取り組んでおります。

商品面では、お客様視点に立ち、マーケットの変化に対応したオリジナル商品の開発を推進し、差別化に取り組んでまいりました。

営業面では、防災設備市場、パブリック市場など新需要の掘り起こしを推し進めるとともに、4支社14営業所1出張所による営業体制でお客様との双方向のコミュニケーションを強化し、地域に根ざしたきめ細かな営業活動に取り組んでまいりました。

生産面では、K P S (KVK Production System)活動を柱に、需要の変化に柔軟かつ迅速に対応できる多品種少量生産に立ち返り、“シンプル、スリム、コンパクト”な最適生産体制づくりに、大連工場と一体となって取り組んでまいりました。物流改革をはじめ、生産性・稼働率のアップ、部品の共通化・モジュール化などお客様の注文に合わせた小ロットでのモノづくりを推し進め、品質向上とコスト削減に注力してまいりました。

こうした諸施策の結果、当第1四半期の連結業績につきましては、拡販活動に努め、売上高は59億30百万円（前年同期比1.0%増）となりました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、グループ一丸となって、在庫圧縮、調達コストの削減、経費の削減などトータルのコスト管理を強化し、固定費・変動費の引き下げに努め、営業利益は4億33百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は5億20百万円（前年同期比3.2%減）、四半期純利益は3億52百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、次に述べる売上高はセグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

日本におきましては、住宅取得支援策を背景に新設住宅着工戸数は僅かながら持ち直しの傾向にあり、売上高60億25百万円（前年同期比0.8%増）となりました。また、継続的な固定費・変動費の引下げ、業務全般の効率化などトータルコスト削減の結果、営業利益は5億8百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

中国におきましては、販売価格の見直しにより、売上高は11億11百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は1億17百万円（前年同期は53百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産は、前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少し、192億92百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億27百万円、たな卸資産が2億4百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度に比べ6億58百万円減少し、76億91百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が2億62百万円、未払法人税等が3億53百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億75百万円増加し、116億1百万円となりました。これは主に四半期純利益3億52百万円及び剰余金の配当1億14百万円によるものです。この結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末は57.5%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億27百万円減少し、14億4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは82百万円の支出（前年同期比81百万円の支出増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を5億19百万円計上した一方で、法人税等の支払額が5億28百万円発生したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは1億97百万円の支出（前年同期比1億20百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1億91百万円発生したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは64百万円の収入（前年同期比12百万円の収入減）となりました。これは主に短期借入金1億80百万円増加した一方で、配当金の支払が1億3百万円発生したことによります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は87百万円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,241,000
計	46,241,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,531,157	16,531,157	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	16,531,157	16,531,157		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		16,531,157		2,831,425		2,999,825

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 147,000		1（1）発行済株式の「内容」欄に記載のとおりであります。
完全議決権株式（その他）	普通株式 16,161,000	16,161	同上
単元未満株式	普通株式 223,157		
発行済株式総数	16,531,157		
総株主の議決権		16,161	

（注） 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が530株含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式172株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
（自己保有株式） 株式会社K V K	岐阜市黒野308番地	147,000		147,000	0.89
計	-	147,000		147,000	0.89

（注）平成24年6月30日現在の当社保有の自己株式数は108,172株であります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人アンピシヤスによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,631,852	1,404,100
受取手形及び売掛金	1 9,027,908	1 8,975,827
商品及び製品	914,603	821,665
仕掛品	697,547	671,293
原材料及び貯蔵品	1,164,388	1,079,065
その他	414,665	419,477
貸倒引当金	141,510	96,180
流動資産合計	13,709,455	13,275,249
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,678,403	1,627,550
土地	1,860,091	1,860,091
その他(純額)	1,891,802	1,905,296
有形固定資産合計	5,430,298	5,392,938
無形固定資産	122,081	117,684
投資その他の資産		
投資有価証券	240,653	227,622
その他	414,748	420,747
貸倒引当金	141,689	141,689
投資その他の資産合計	513,713	506,680
固定資産合計	6,066,093	6,017,303
資産合計	19,775,548	19,292,553



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,796,013	4,533,349
短期借入金	980,000	1,160,000
未払法人税等	547,344	193,588
その他	1,490,601	1,302,996
流動負債合計	7,813,959	7,189,933
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
退職給付引当金	244,412	235,051
負ののれん	60,935	44,316
その他	190,323	182,238
固定負債合計	535,671	501,606
負債合計	8,349,630	7,691,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,831,425	2,831,425
資本剰余金	2,999,825	2,999,825
利益剰余金	5,948,751	6,183,369
自己株式	34,817	25,590
株主資本合計	11,745,184	11,989,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,464	16,546
為替換算調整勘定	372,763	426,293
その他の包括利益累計額合計	380,227	442,840
新株予約権	60,961	54,824
純資産合計	11,425,918	11,601,012
負債純資産合計	19,775,548	19,292,553

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,871,094	5,930,949
売上原価	4,383,433	4,430,692
売上総利益	1,487,661	1,500,257
販売費及び一般管理費	1,065,093	1,066,753
営業利益	422,567	433,503
営業外収益		
受取利息	124	217
受取配当金	2,035	2,494
負ののれん償却額	16,618	16,618
為替差益	-	7,356
貸倒引当金戻入額	90,700	45,330
その他	23,190	26,591
営業外収益合計	132,670	98,609
営業外費用		
支払利息	5,283	2,294
売上割引	8,139	8,999
為替差損	3,739	-
その他	464	432
営業外費用合計	17,627	11,725
経常利益	537,610	520,386
特別利益		
固定資産売却益	-	446
特別利益合計	-	446
特別損失		
固定資産売却損	-	30
固定資産除却損	95	1,116
特別損失合計	95	1,146
税金等調整前四半期純利益	537,514	519,686
法人税、住民税及び事業税	228,557	185,149
法人税等調整額	10,727	17,959
法人税等合計	239,284	167,189
少数株主損益調整前四半期純利益	298,229	352,496
四半期純利益	298,229	352,496

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298,229	352,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,735	9,082
為替換算調整勘定	25,376	53,530
その他の包括利益合計	30,111	62,612
四半期包括利益	268,118	289,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268,118	289,884

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	537,514	519,686
減価償却費	153,679	140,184
負ののれん償却額	16,618	16,618
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,909	9,361
貸倒引当金の増減額(は減少)	90,700	45,330
受取利息及び受取配当金	2,350	2,901
支払利息	13,422	11,293
為替差損益(は益)	5,572	6,632
有形固定資産売却損益(は益)	-	415
有形固定資産除却損	95	1,116
売上債権の増減額(は増加)	13,727	8,537
たな卸資産の増減額(は増加)	35,471	181,643
仕入債務の増減額(は減少)	21,569	182,632
その他の資産の増減額(は増加)	2,422	10,077
その他の負債の増減額(は減少)	153,645	154,086
小計	431,318	454,559
利息及び配当金の受取額	2,345	3,048
利息の支払額	10,804	10,712
法人税等の支払額	423,382	528,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	522	82,050
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	72,691	191,594
有形固定資産の売却による収入	-	519
投資有価証券の取得による支出	898	898
その他の支出	3,516	5,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	77,105	197,784
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	180,000	180,000
リース債務の返済による支出	14,888	12,094
ストックオプションの行使による収入	32	39
自己株式の取得による支出	105	-
配当金の支払額	87,967	103,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,070	64,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,280	12,182
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,837	227,751
現金及び現金同等物の期首残高	1,448,355	1,631,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,445,517	1,404,100

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	268,936千円	350,348千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	1,445,517千円	1,404,100千円
現金及び現金同等物	1,445,517	1,404,100

## (株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	98,420	6.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	114,687	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、給水栓・給排水金具・継手及び配管部材の製造・加工・仕入れ及び販売を主事業とする専門メーカーで、当社及び中国大連の子会社1社で構成された所在地別セグメント情報を報告セグメントとしております。

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,849,483	21,610	5,871,094		5,871,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	125,367	1,011,184	1,136,552	1,136,552	
計	5,974,851	1,032,795	7,007,646	1,136,552	5,871,094
セグメント利益又は損失( )	581,587	53,824	527,763	105,195	422,567

- (注)1. セグメント利益調整額 105,195千円には、セグメント間取引消去9,371千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 142,018千円及び棚卸資産の調整額27,451千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,913,615	17,334	5,930,949		5,930,949
セグメント間の内部売上高又は振替高	111,839	1,094,159	1,205,998	1,205,998	
計	6,025,454	1,111,493	7,136,947	1,205,998	5,930,949
セグメント利益	508,337	117,263	625,601	192,098	433,503

- (注)1. セグメント利益調整額 192,098千円には、セグメント間取引消去8,435千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 136,514千円及び棚卸資産の調整額 64,018千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
( 1 ) 1 株当たり四半期純利益金額	18円17銭	21円49銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	298,229	352,496
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )		
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	298,229	352,496
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	16,404,807	16,400,645
( 2 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	17円85銭	21円 1 銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益調整額 ( 千円 )		
普通株式増加数 ( 株 )	294,713	372,309
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

株式会社ケーブイケー  
(商号 株式会社 K V K)  
取締役会 御中

### 監査法人アンビシヤス

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 吉田 実郎 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 安田 益生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ケーブイケー(商号 株式会社 K V K)の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ケーブイケー(商号 株式会社 K V K)及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。